

## 第12回医療オリンピックC-1 2014 決勝大会

## 医識王など栄冠目指し熱戦展開 競い合い、認め合い、学び合って信頼を得る

第12回医療オリンピックC-1 2014 決勝大会が11月16日、東京国際フォーラム(東京都千代田区)で開催された。地区予選を勝ち上がってきた施術者たちが決勝大会のステージで「医識王」「診断王」「刺鍼王」「矯正王」「包帯王」の栄冠を目指し、日ごろの施術で鍛えた技術と知恵をぶつけ合った。

主催者挨拶で整骨院振興協同組合代表理事の近藤昌之氏は「私たちはこの時代を一生懸命に生きて未来を築いていきます。素

晴らしい未来を築くためには、この一瞬一瞬を光り輝かせなければいけません。今、我々に必要なのは業界を変えることです。患者さんと向き合って、患者さんに必要なものをしっかりと培って、診断力、治療力、人間力を鍛えなければいけません。医療のファーストステージとして整骨医学、鍼灸医学が患者さんのためにあるということを築いていく必要があります。そのためには日夜鍛え続けなければなりません。お互いに競い合う、認め合う、そして学び合うこ



東京国際フォーラムで開催された第12回医療オリンピックC-1 2014決勝大会



主催者挨拶を述べる近藤昌之氏

とで、我々の業界は必ず患者さんの信頼を得ることができます。今日、第12回医療オリンピックC-1 2014 決勝大会を開きます。ぜひ、皆さんの資質の向上の一步が築けることを願っています」と参加者たちを激励した。

後援挨拶では一般社団法人柔道整復師連合会会長の田中威勢夫氏が「この1年間で我々柔道整復師を取り巻く環境はだいぶ変わりました。今までは厚生労働省、保険者などの締め付けがありましたが、今年になって財務省、国土交通省からも業界に対する締め付けがきつくなっています。財務省からは柔整師の療養費をマルメにするとか、受領委任が取り扱える整骨院を仕訳けするという案が出ています。これを防ぐためには業界が一丸とならなければなりません。今、連合会と日本柔道整復師会が手を組んでいます、より多くの先生方に協力して

いただいて大同団結することで業界の声を一本化すれば各方面に折衝できます」と柔整業界の団結を呼び掛けた。

「医識王」は医療知識を問う50題の問題に会場の参加者全員が参加して答えるクイズ形式のコンテスト。成績上位5名が決勝戦に進む。

「診断王」は制限時間8分間の限られた時間内で問診から診断までを行い、診断や説明の的確さに加えて接遇力を競う。「問診」「視診」「触診」「傷病と保険の説明」の一連の流れと、「接遇力」「患者さんの感覚」の6項目で審査される。

「刺鍼王」は刺鍼技術を競う。3番1寸3分と3番1寸6分の鍼で、各1分ずつ片手挿管で刺鍼をして合計の刺鍼数で勝敗を決める。斜刺、弾入せず鍼柄を押し込んだ刺鍼、弾入時に鍼管から手を離していない刺鍼はカウントされない。



後援者挨拶を述べる田中威勢夫氏

「矯正王」は様々な手技を駆使して3分間で身体の歪みを矯正する。審査では「姿勢観察器」などで矯正の効果をチェックし、「施術を受けてみてどうだったか」「また施術を受けたいか」の患者評価も加わる。

「包帯王」は巻いた包帯の見栄え、きつさ、実用性の複数項目で審査され、総合ポイントを競う。準決勝までは足関節を巻き、決勝ステージでは足関節、膝関節、手指、肩関節を一気に巻く。

決勝大会では中山純一氏（河原医療福祉専門学校）の特別講演『肩のみかた～なぜ検査法を行うのか～』も行われた。

**各種目の結果**

**医識王** 橋沢隆弘（パルモ大井町整骨院）

**診断王**

- 1位 阿野智也（亀戸駅前中央整骨院）
- 2位 杉野貴久（西船南口中央整骨院）
- 3位 山口良介（下総中山整骨院）

**刺鍼王**

- 1位 村上竜己（ぶらす整骨院上新庄院）
- 2位 金田翔夢（ほっと治療院）
- 3位 藤崎太輔（わかば接骨院）

**矯正王**

- 1位 佐藤 優（東小岩中央整骨院）
- 2位 杉野貴久（西船南口中央整骨院）
- 3位 大條隆章（CMC 西葛西整骨院）

**包帯王**

- 1位 梅田和典（桂岡接骨院）
- 2位 内藤 潤（パルモ神保町整骨院）
- 3位 熊谷圭一郎（笑顔道笑福整骨院）  
（敬称略）



写真  
 ①医識王 橋沢隆弘 ②特別講演  
 ③包帯王決勝 ④診断王 阿野智也  
 ⑤診断王決勝 ⑥包帯王 梅田和典  
 ⑦矯正王決勝 ⑧医識王予選  
 ⑨矯正王 佐藤優 ⑩刺鍼王決勝  
 ⑪刺鍼王 村上竜己（敬称略）